

逗子開成中学校・高等学校 平成 26 年度入学式

「学 校 長 式 辞」

今年は 3 月になっても寒い日が続き桜の開花が待たれましたが、4 月に入ると桜も満開となり、野にも山にも春の訪れを感じられるようになりました。この佳き日に、平成 26 年度の入学式を挙行するにあたり、ご多忙のところ、PTA、校友会の役員の皆様をはじめとすご来賓の皆様、また、多くの保護者の皆様のご出席をいただき、心からお礼申し上げます。

中学 1 年 281 名、高校 1 年 271 名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今日は天気にも恵まれ新しいスタートにふさわしい日となりました。その輝かしい第一歩を踏み出すにあたり、皆さんに是非考えてもらいたい事について話をしたいと思います。

さて、皆さんご存知の通り逗子開成の校章は「ペンと剣」ですが、この校章の意味について知っていますか？本校のパンフレットには、“イギリスの作家ブルワー・リットンの「ペンは剣よりも強し」を図案化した開成中学校の校章を受け継ぎ、中央に桜の花を配して「知力と体力の調和ある発達」を表現しています。”とあります。従って、文武両道の象徴として校章をイメージすることが多いようですが、今日は本来の「ペンは剣よりも強し」の意味について考えてみたいと思います。

パキスタンの少女で人権運動家であるマララ・ユサフザイさんが、2013 年 7 月 12 日に国連本部で演説し、この言葉を引用し教育の大切さを強く訴えました。

皆さんの中には知っている人もいますが、マララさんとその演説について簡単に紹介します。

マララさんは、2012 年 10 月 9 日、スクールバスで下校途中、武装集団に銃撃され重傷を負いました。弾丸摘出手術を受け一命をとりとめたのですが、15 歳の女子学生を狙い撃ちにしたテロ事件は世界中に大きな衝撃を与えました。犯行声明を出した反政府勢力パキスタン・タリバーン運動（TPP）は、教育の権利を求める女性の「反道徳的」活動への報復であるとテロ行為を正当化しています。

イスラム過激派の TPP は、女性の教育・就労権を認めず、200 以上の女子高を爆破しています。こうした TPP の人権抑圧を告発していたマララさんの口封じをしようとした訳ですが、銃弾で黙らせることはできずむしろこの行為によって、数多くの人たちがマララさんと同じように声を上げ始めました。

奇跡的に回復したマララさんは、国連での演説で次のように述べています。

全文は長いのでここでは抜粋したものを紹介します。

「ペンが剣よりも強し」ということわざがあります。これは真実です。過激派は本とペンを恐れます。教育の力が彼らを恐れさせます。だから彼らは、毎日学校を破壊するのです。なぜなら、彼らは、私たちが自分たちの社会にもたらそうとした自由を、そして平等を恐れていたからです。そして彼らは、今もそれを恐れているからです。

親愛なる国連事務総長、教育には平和が欠かせません。世界の多くの場所では、特にパキスタンとアフガニスタンでは、テロリズム、戦争、紛争のせいで子どもたちは学校に行けません。私たちは本当にこういった戦争にうんざりしています。女性と子どもは、世界の多くの場所で、さまざまな形で、被害を受けています。

貧困、無学、不正、人種差別、そして基本的権利の剥奪——これらが、男女共に直面している主な問題なのです。

親愛なる少年少女のみなさん、私たちはすべての子どもたちの明るい未来のために、学校と教育を求めます。私たちは、「平和」と「すべての人に教育を」という目的地に到達するための旅を続けます。誰にも私たちを止めることはできません。私たちは、自分たちの権利のために声を上げ、私たちの声を通じて変化をもたらします。自分たちの言葉の力を、強さを信じましょう。私たちの言葉は世界を変えられるのです。

無学、貧困、そしてテロリズムと闘いましょう。本を手に取り、ペンを握りましょう。それが私たちにとってもっとも強力な武器なのです。

1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペン、それで世界を変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。

皆さん、「ペンが剣よりも強し」という言葉の意味がわかったでしょうか。「言論が人の心に訴える力は武力よりも強く、持続性があり広範囲に及ぶ」ということです。

世界には本当に数多くの教育を受ける機会のない子供達があります。平和な日本で生活している皆さんは、十分な教育を受けられる環境にいます。そして自分の夢を実現することができるチャンスにも恵まれています。学校に行くことが当たり前になっているので、このことが大切なことだということを認識していないかもしれません。皆さんには、この環境を与えてくれた保護者の方や周囲の人たちへの感謝を忘れずに、そして、この恵まれた環境を十分に活かして学校生活を過ごして欲

しいと思います。

この中高6年間では、実に多くのことを学び様々な体験をすることができます。しかし、自分から積極的に求めていかなければ得られることは僅かでしょう。学校生活を通して自分の目標を見極めその実現に向けて頑張ってください。自分自身の幸福はもちろんのこと、世界中に存在する矛盾や問題を解決するような気持ちを持って欲しいものです。これからの勉強で身につけた知識や教養を武器として、未来を切り拓いていってください。

遅くなりましたが保護者の皆様、ご息のご入学誠にありがとうございます。教職員一同、ご息が充実した学校生活を過ごし、大きな成長を遂げられるように全力を尽くします。ご息の教育には学校とご家庭の協力が不可欠です。保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解をいただき、ご支援とご協力をお願いいたします。

新入生の皆さん。今日の喜びと感激を忘れずに、健康で、自分の成長が実感できる学校生活を送るよう期待しています。

以上をもちまして入学式の式辞といたします。

平成26年4月8日

学校法人逗子開成学園 逗子開成中学校・高等学校

校長 高橋 純